



2008年に生産開始が予定される広州トヨタの小型車・ヤリス

中国は小型車主流の市場  
マスコミ報道の影響などで、中国には豪華な車がたくさん走っている印象があるかもしれない。しかし、実際は小型車主体のマーケットだ。二〇〇五年の統計ですでに全体の四分の三を小型車が占めている。  
中国のモーターゼーションがはじまってまだ五年ほどが経ったに過ぎない。



トヨタのハイブリッド車、プリウスを展示した上海モーターショーの一角

モーターゼーションの初期段階には、中型・大型自動車の伸びが顕著になるのが通例。金持ちが自動車を購入した後、ローンが設定されるなどし、庶民が小型車を手に入れる。  
中国市場で小型車はすでに主流を占めるが、現在はマイカー時代の初期段階であり、小型車の販売が爆発的に伸びていく段階には到達していない。  
弊社の調べでは、市場出荷台数の伸び率をセグメント別に見ると、二〇〇六年に一番伸びたのがラグジュアリーカー（豪華さを備えた高級車）で五五%。ただ構成比は四%と小さい。中型車は伸び率三六%、構成比は一八%。小型車は構成比七五%と非常に大きいが、三〇%で伸び

## TOYOTA

# 「まだモーターゼーションの初期段階。小型車普及が本格化するのには暫く先」

トヨタ自動車上海代表処・東和男首席代表

ハイブリット車を唯一展開するトヨタ自動車。上海モーターショーでも「環境・安全」コーナーを設け、プリウスのカットボディを展示、環境への取り組みをアピールしていた。同社上海トヨタ自動車上海代表処・東和男首席代表に、小型車の普及や燃料問題について話を聞いた。

ている。

### 外資系も小型車に注力

小型車を生産する民族系メーカーの成長が著しい。奇瑞や吉利などその歴史は一〇年に満たないが、すでに年間で二〇万台から三〇万台を国内販売するまでに力を付けている。ロシア、中東、アフリカ諸国などへの輸出も好調で、奇瑞は三月だけで一万台を輸出したようだ。  
民族系メーカーが育たない限り、我々外資系メーカーへの規制はなくなるらないため、民族系メーカーが順調に成長することを希望する。

ただあなどってははいられない。小型車は稼ぐのが難しいセグメントで、かなりの台数を販売しないと利益がでないが、民族系メーカーの一部は今後、小型車でしっかりと利益を出せるよう体質改善し、大きく飛躍する可能性を秘めている。すでに外資系メーカーは高級車市場、低価格の小型車は民族系と二極化の流れもある。しかし、我々外資系も稼げる小型車



中国版軽自動車の開発を提言するトヨタ自動車上海代表処の東和男氏

の開発を怠ることができない。五年後、一〇年後に市場が成熟すれば、小型車は重要な商材になるからだ。

### バイオエタノールに期待

中国のモーターゼーションを語る際、エネルギー問題は避けては通れない。ハイブリット車やディーゼル車などがあるが、どちらも化石燃料。今後、最も期待されるエネルギーはバイオエタノールだろう。

弊社製品は、すべてがバイオエタノール対応である。日本ではなかなか進まないが、ブラジルではすでにガソリンへ一〇%のバイオエタノールを混入、中国でも東北部で五%が混入されている。今後中国ではバイオエタノール率が上がっていくのではないかと。

環境問題の観点からも、小型車の普及が必要だ。一三億人が大型・中型車に乗れば、地球環境は持たないだろう。小型車、さらに言えば中国式の軽自動車を開発し、普及させていく必要もありそうだ。